

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年10月10日

計画の名称	仁良川地区の安全安心で住みやすいまちづくり													
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	下野市													
計画の目標	下野市は、都心から85km圏にあり、首都圏の一端を構成している。 仁良川地区は、下野市において公共施設が集中する下野市東部の行政・文化の拠点である。周辺の道路状況は、本地区西側をはしる主要幹線道路である新4号国道が全面開通し、鉄道駅もJR自治医大駅が北西約2.8kmに、同小金井駅が南西約3.0kmに位置するなど交通状況は恵まれた状況にある。しかしながら地区内は、道路、公園等の公共施設の整備が不十分なため、有効な土地利用が十分に図られていない上に、道路が狭隘で歩道も無いことから、小中学生の通学路も危険な状況にある。 よって、土地区画整理事業により面的な整備を行うことで、都市計画道路3・4・901薬師寺仁良川線ほか3路線の都市計画道路とそれに接続する区画道路および近隣公園、街区公園などの都市施設を充実させ、安全な通学路・生活道路を確保し、合わせて良好な住宅の供給を促進し、本地区の安心して生活できる居住環境の向上を図ることを目的とする													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		413	A	413	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	地区内の道路、公園などの整備により、生活環境の向上を図り、地区内の定住人口の増加を目指す。 地区内の世帯数を調査する。	835戸	885戸	920戸
2	地区内の道路、公園などの整備により、日常生活及び災害時の安全・安心の満足度の向上を目指す。 地区内の道路、公園、街路灯等の整備による日常生活及び災害時の安全・安心度の調査をする。	20%	25%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	下野市	直接	下野市	区画	改築	仁良川地区土地区画整理 事業	区画整理（住宅地）91.4ha	下野市	■	■	■	■	■	413	1.14	-	
											小計						413			
											合計						413			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（下野市都市建設部整備課）にて評価を実施	令和6年10月に実施
	公表の方法
	下野市ホームページにおいて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業により、都市計画道路3・4・901薬師寺仁良川線ほか3路線の都市計画道路とそれに接続する区画道路及び近隣公園、街区公園などの面的な整備を行い、安全な通学路・生活道路の確保や良好な住宅の供給が促進され、安全・安心な交通環境の形成及び良好な居住環境の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
仁良川地区は、立地適正化計画において「郊外型居住区域として若年層をはじめとした人口流入の受け皿とする」区域として位置づけられている。地区内の土地の価格はJR駅周辺と比べて低く、義務教育学校である南河内小中学校が令和4年度に開校するなど若年層の人口流入が期待できることから、引き続き土地区画整理事業による面的な整備を進めることで、より安全・安心な交通環境の形成及び良好な居住環境の向上を図っていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	地区内の道路、公園などの整備により、生活環境の向上を図り、地区内の定住人口の増加を目指す。		
	最 終 目標値	920戸	社会資本整備総合交付金等を活用し都市計画道路、区画道路及び公園等の整備促進を図ったことにより、保留地処分や民間の土地取引が活発化し良好な宅地の供給が促進したため、目標値を上回る人口の増加があったと思われる。
	最 終 実績値	1339戸	
2	地区内の道路、公園などの整備により、日常生活及び災害時の安全・安心の満足度の向上を目指す。		
	最 終 目標値	30%	社会資本整備総合交付金等を活用し都市計画道路、区画道路及び公園等の整備促進を図ったこと、また防犯・防災担当課により防犯灯設置や防災対策が推進され安全・安心な生活環境整備が促進したため、目標値を上回る満足度の向上があったと思われる。
	最 終 実績値	49%	